

(4月の果実見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	入荷量(t)	占有率(%)	
いちご類		5,487	96	5,594	780	101	761	-	-	栃木、福岡産中心の入荷となる。栃木産は天候不順のため、2月下旬に不受精が多く発生。入荷量は前年を1割程度下回る見込み。福岡産は4月上旬に3番果房のピークを迎える。サイズは2Lが中心であるが、小玉果の比率も高く、入荷は平年並みの見込み。全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年をやや上回る見込み。
すいか類		2,245	102	2,200	278	100	288	-	-	熊本、茨城産中心の入荷で全体の9割を占める。大玉、小玉とも作付けは減少。熊本産は年明けからの天候不順により小玉の仕上がり。4月上旬までは前年を下回る入荷となり、中旬以降は前年並みに回復する見込み。茨城産は4月上旬は前年並みの入荷が見込まれるが、中下旬は前年の7割程度の入荷見込み。全体の入荷量は前年を大幅に下回り、価格は品薄感から前年を上回る見込み。
ぶどう		21	90	75	2,830	100	1,398	-	-	山梨産中心の入荷となる。品種はデラウェア。ハウスデラウェアは栽培面積が減少。早期出荷分についても入荷減となることから4月の入荷量は前年を下回る見込み。価格はシーズン初期で固定需要もあるが前年並みの見込み。
みかん類		661	94	382	299	100	567	-	-	大分、愛知を中心にハウスみかんの入荷が始まる。重油高の影響は前年より小さいが、早期作型の面積は減少。大分、愛知産とも初出荷が例年より遅れ、4月の入荷量は前年を下回る見込み。不足感は前年より強いもの的高額商品の完売環境は厳しく価格は前年並の見込み。
びわ		73	119	89	2,073	85	1,954	-	-	長崎産中心の入荷で全体の8割を占める。長崎産は出荷ペースが平年より前進。入荷量は前年の2割増となる見込み。価格はスタートから充足感が強く、前年下回る見込み。